

被害防止計画目標評価報告書

1. 対象地域及び実施期間

対象地域	宇陀市
実施期間	R2、R3、R4

2. 被害防止計画目標の達成状況(宇陀市分)

被害防止計画目標	基準年(H30年度)の実績値 (A)	目標値 (B)	目標年(R4年度)の実績値 (C)	達成率(%) A-C/A-B	備考
(被害金額)	千円	千円	千円	%	
ニホンザル	230	161	400	-246.4	
ニホンジカ	3,171	1,455	1,412	102.5	
イノシシ	6,416	2,712	6,860	-12.0	
アライグマ	463	324	624	-115.8	
計	10,280	4,652	9,296	17.5	
(被害面積)	ha	ha	ha	%	
ニホンザル	0.22	0.15	0.40	-257.1	
ニホンジカ	4.82	3.40	1.42	239	
イノシシ	13.44	7.50	7.73	96.1	
アライグマ	0.45	0.31	0.52	-50.0	
計	18.93	11.36	10.07	117.0	

3. 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業内容	事業量	管理主体	供用開始日	事業効果
令和2年度 鳥獣被害防止総合対策事業	35,941,921円	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会		
事務局会議開催	随時			○研修会を開催した集落では、獣害対策に取り組む意識や意欲が高まり、集落全体で侵入防止柵の点検や強化を実施した。
各種研修会開催	宇陀市2回 名張市2回			○狩猟者育成プログラムや捕獲従事者育成により、市外から有害鳥獣対策に関わる人材が移住し、捕獲体制の強化につながった。また、くくり罠の導入で捕獲力が向上した。
狩猟獣解体研修及び利活用促進	名張市で実施			○ニホンザルの行動調査により、群れの構成や頭数把握の情報を得ることができ被害対策につながった。
サル群生態調査	名張A・B群			○捕獲檻等の導入によりニホンジカなどの加害獣の捕獲力が向上し捕獲数が増加した。
狩猟者育成プログラム	参加者 10名			○侵入防止柵の整備によって、集落一体となった獣害対策活動が促進され、ニホンジカなどの被害が軽減した。
獣肉利活用捕獲従事者育成講座	延べ16名参加 捕獲マニュアル作成			○緊急捕獲活動により、ニホンジカ、イノシシによる農林業被害の軽減につながった。
不要果樹伐採	2本 名張市で実施			
捕獲機材購入	捕獲檻 シカ・イノシシ用 11基 サル用 4基 くくり罠 150基		R2.10.22～ R3.3.2～ R2.12.9～	
センサーカメラ等購入	9台		R2.9.3～	
追い払い活動	随時			
侵入防止柵整備	WM柵 L=2,096m		R3.3.24～	
緊急捕獲活動 (宇陀市)	イノシシ 296頭 ニホンジカ 898頭 ニホンザル 3頭			

侵入防止柵	2,901,940円 申請件数 65件 10,332m設置	地元管理		侵入防止柵の購入補助により、被害軽減につながった
有害鳥獣捕獲	7,512,000円 イノシ 319頭 オスジカ 331頭 メスジカ 605頭	宇陀市猟友会		捕獲報奨金により捕獲促進につながった
狩猟者確保	1,110,000円 新規取得者 9名 狩猟者登録者102名	宇陀市猟友会		狩猟免許取得取得及び狩猟者登録補助により狩猟者確保につながった
令和3年度 鳥獣被害防止総合対策事業 事務局会議開催 各種研修会開催 捕獲機材購入 捕獲鳥獣利活用研修 ジビエ利活用実践講座 サル群生態調査 追い払い活動 緊急捕獲活動 (宇陀市)	33,884,408円 随時 6回 捕獲檻 シカ・イノシ用 5基 サル用 1基 アライグマ用 30基 くくり罠 165基 参加者 2名 参加者 14名 名張A・B群 随時 ニホンジカ 1128頭 イノシ 82頭	宇陀・名張地域鳥獣害防 止広域対策協議会	R3.11.18～ R4.2.17～ R3.6.25～ R3.12.27～	研修会の開催により、獣害対策に取り組む意識が向上した。また、捕獲に関する知識が向上した。 捕獲機材の導入により実施隊による捕獲力が向上した。また、ジビエの利活用に繋がる研修を実施した事により、利活用を前提とした捕獲技術や止め刺し技術の習得につながった。 ニホンザルの行動調査により、群れの構成や頭数把握の情報を得ることができ被害対策につながった。
侵入防止柵	2,963,000円 申請件数 55件 15,371m設置	地元管理		侵入防止柵の購入補助により、被害軽減につながった
有害鳥獣捕獲	8,534,000円 イノシ 82頭 オスジカ 394頭 メスジカ 506頭	宇陀市猟友会		捕獲報奨金により捕獲促進につながった
狩猟者確保	1,240,000円 新規取得者 8名 狩猟者登録者116名	宇陀市猟友会		狩猟免許取得取得及び狩猟者登録補助により狩猟者確保につながった
令和4年度 鳥獣被害防止総合対策事業 事務局会議開催 捕獲機材購入 サル群生態調査	72,536,935円 随時 捕獲檻 シカ・イノシ用 11基 くくり罠 30基 名張A・B群	宇陀・名張地域鳥獣害防 止広域対策協議会	R5.1.12 R5.1.28	捕獲機材の導入により実施隊による加害獣の捕獲力が向上した。 狩猟者育成プログラムにより、市外から有害鳥獣対策に関わる人

追い払い活動	随時			材が増加し、捕獲体制の強化につながった。また、猟友会指導者育成プログラムにより、初心者や若手の捕獲効率化に加えジビエとして利活用するための捕獲技術習得を図ることが出来た。
狩猟者育成プログラム	参加者 7名			
猟友会指導者育成プログラム	参加者 10名			
侵入防止柵整備	L=9,820m		R5.3.29～	
緊急捕獲活動 (宇陀市)	ニホンジカ 1,139頭 イノシシ 214頭			ニホンザルの調査を継続することで、位置情報や頭数の情報を発信でき、被害軽減につながった。
侵入防止柵	2,080,800円 申請件数 42件 7,126m設置	地元管理		侵入防止柵の購入補助により、被害軽減につながった
有害鳥獣捕獲	8,931,000円 イノシシ 210頭 オスジカ 385頭 メスジカ 729頭	宇陀市猟友会		捕獲報奨金により捕獲促進につながった
狩猟者確保	1,19,000円 新規取得者 8名 狩猟者登録者111名	宇陀市猟友会		狩猟免許取得取得及び狩猟者登録補助により狩猟者確保につながった

4. 総合評価

捕獲機材の導入や人材育成研修等による鳥獣被害対策を実施し、鳥獣の捕獲の推進を図ったことに加え、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業の浸透により、多くの捕獲実績へとつながった。特に捕獲体制強化のため、狩猟者育成プログラムを実施したことにより、宇陀市への移住及び捕獲協力人数が増加し、猟友会活動が活性化した。そのため、猟友会へ40代以下の加盟人数が増え猟友会員が県内で最大となったことに加え、平均年齢が引き下がったことにより、被害軽減のための捕獲を継続できる体制が整った。

侵入防止柵の設置や追い払い捕獲機材の充実により捕獲を推進し被害軽減の目標達成を進め、被害面積については目標を達成できたが、被害金額では軽減目標の達成には至らず平成30年度から1割の被害軽減に留まった。原因としては、サルの頭数が増加し出没回数が増えたことに加え、アライグマによるスイカ等への被害が拡大したことが原因と考えられる。

捕獲頭数については、イノシシは豚熱の影響で捕獲数が一時的に減少したが、豚熱の影響前近くまで戻りつつあることから、継続的な捕獲強化が必要である。ニホンジカは、平成30年度と比較し390頭増加しており、捕獲体制の強化による効果が表れている。

ニホンザルについては、大規模な捕獲後に残った7頭から11頭に増加していることから、被害が拡大している。群れが少数のため接近に気付かないことが一因であることから、テレメトリー調査の結果を引き続きメールで提供することで、追い払い活動等を継続できる環境を作る必要がある。

今後も宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会で各種事業を実施すると共に、住民の被害対策意識の向上と集落環境改善に加え、専門的な知識を有する者からの指導のもと効果的な捕獲を行うなど、被害軽減の目標達成に向け、鳥獣被害対策を実施する。

5. 第三者の意見

鳥獣被害は今後とも少なくならない状況であり、狩猟者育成が行われて若い従事者が増えることは大変重要です。この背景には、研修会の開催が行われ、地域住民の鳥獣害対策への意識向上も図られていると思います。ニホンザルの捕獲で被害が少なくなっても、餌が確保できる環境がある限りは群れが回復する可能性は高いと思はれます。警戒を怠らない体制づくりが必要です。侵入防止柵も設置して10年以上経過するところではメンテナンスを行って柵の機能性維持に努められていると思います。

一般社団法人奈良県植物防疫協会 試験員 福井 俊男